

高信頼性ICタグ

超耐熱ICタグとバーコード

読み出し専用の超耐熱ICタグとバーコードの違いについて考えてみたいと思います。バーコードは表示したものを認識する技術であるため、汚れに極めて弱いということがあげられます。

スーパーマーケットでも時々バーコードが読めないというトラブルがありますし、宅配便のバーコードも決してすべてが読めるというわけにはいきません。

生産現場や管理倉庫での環境は必ずしもよいとは限りません。高温を扱う塗装現場もそのような例です。長い期間使用していくと表面に汚れが付着していきます。

(株)R&Vでは長期に渡り、300℃以上の高温で安心して使うことができる超耐熱ICタグをリーダとともにご提供しています。是非、過酷な生産現場での適用に向けてご検討していただきたくお願いします。